

～ご近所の絆～

ボランティア活動者の方から、「近所の一人暮らしの方が入院したと聞いたが、その後の様子がわからないので心配している」と社協へ相談がありました。

社協から関係機関へ状況を確認したところ、現在も入院していることがわかりましたが、そのやり取りの中で、ご近所の方が心配されている旨を伝えました。するとその後、ご本人が病院を移る際、一度自宅へ帰ることになったとご家族からご近所の方へ連絡を入れてくださったそうです。当日は、ご近所で親しくしていた数名が本人宅へ集まり、本人と久しぶりにお話することができたとのこと。相談してよかった、ありがとうとご報告をいただきました。

再会のときのみなさまの笑顔を思い浮かべて、私たち職員もとてもうれしい気持ちになりました。

※新宿区社会福祉協議会では、地域の気になる方・心配な方についてのご相談もお受けしています。関係機関などと連携して対応しておりますので、何かありましたら情報をお寄せください。

